

子どもの権利を守るのはだれ？

人には、だれであっても、
人として大切にされる「人権」があります。
同時に、すべての子どもには、
「子どもの権利」もあります。



この「権利を守ること」について、一緒に考えてみましょう！

安心して参加できるように

今日の約束



一人ひとりの意見や考えを大切にします。



相手を一方的に否定したり、ばかにしたり、攻撃したりしません。



話したくないことや言いたくないこと、個人的なことは話しません。



今日ここで、だれが何を話したのかを他の人に言いふらしたりしません。



みんなが参加し話せるように協力します。

はじめに



みなさんは、これまでの授業や
見聞きしたニュースの中で気になった
「子どもに関するテーマや問題」は
ありますか？



すべての子どもにある「**子どもの権利**」。

でも、守られていない時もあります。

具体的に何をしたら「**子どもの権利**」は守られるの？

それは、だれの役割なのかな？

子どもの権利条約一覧から、 あなたの「気になる権利」を選んでみよう

気になる理由も、ワークシートに書いてみよう。



「大切だと思うから」、
「いま守られていないと思うから」など
いろいろな理由がありそう。

選んだ権利と理由について グループで話してみよう

たくさんある「子どもの権利」。
同じ権利でも、気になる理由は
人によって違うかも！



選んだ権利が「守られている時」を 具体的にイメージして、話し合ってみよう

その時のあなたの
状況や気持ち、周りの
おとなや社会の様子も、
想像してみよう！

例えば、第31条

自分らしく過ごしたり、ほっとしたりできる
学校の授業や部活でも、休み時間がある・・・など



子どもの権利を守るために 「子ども」「国や自治体」「おとな」ができること

子どもの権利は、
「子どもの権利条約」で
定められています。
国際条約を守るために
できることを、上の3つの
立場から考えてみよう！





子どもには、「権利」があり、

(権利の主体)

権利が守られるよう**求める**こともできます

(権利を行使できる)

権利を守って！



条約が
定めていることを
実行して！



… でも、「権利を守って」って、だれに言うの？



国には、「**権利を守る義務**」があり、
条約が定めることを**実行**しなければ
なりません (条約第4条)

権利を守るための
法律・制度など
仕組みを
作ったりします！



実行役を担うのは、
各地域の
自治体です！



でも、国に意見とか言いづらいなあ・・・



おとなには、子どもを守り支える
「責任と権利」があり、
それぞれの立場にもとづいて**行動**します

子どもの権利を
守る責任を
はたすよ！



国・自治体にも
はたらきかけます！



頼れるおとなも、たくさんいるんだね！

子どもは、守られる存在でもあり、

権利を行使する主体です

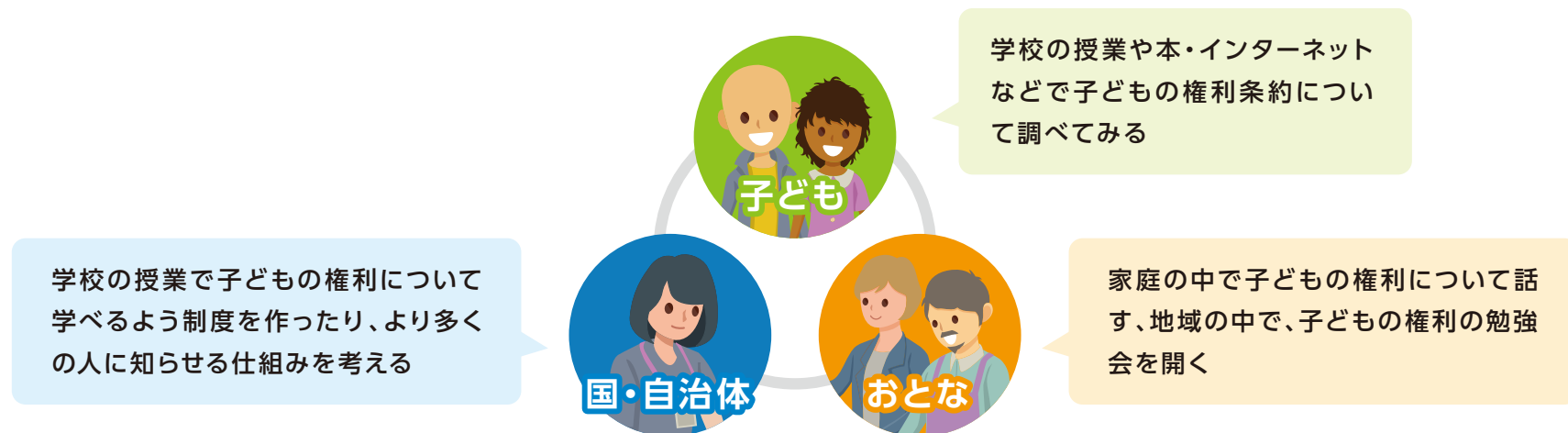
国には、子どもの権利を守る**義務**があり、おとなも、

子どもを守り支える**責任と権利**があります



具体的な子どもの権利の条文に当てはめて考えてみよう

例えば、第42条「子どもの権利を知る権利」の場合



権利が守られていない時・・・それは「自分のせい」ではありません

国に義務があること、子どもに力があること、

おとなにも責任と権利があることをおぼえておこう！

選んだ権利を守るためにできること・ 必要なことをグループで話し合って、 ワークシートに書いてみよう



画面下にある
「できること・必要なこと」を
考える時のヒントも見ながら、
自由にアイディアを出してみよう！

全体共有・まとめ

アクティビティを通して気がついたこと、
ほかの人の意見で印象に残ったことなど、
ワークシートに書いておこう。

